

建築がいの美術と写真 ● 築土構木をキーワードに建築を語り合う

● 岩崎貴宏[美術作家] × 山岸剛[写真家] × 本橋仁[建築史家] ● 日時：令和元年 10月

20日[日] ● 会場：徳正寺[京都市下京区徳正寺町富小路通四条下る39] ● 茶室 矩庵

[設計：藤森照信]見学会 = 13:00から ● シンポジウム = 14:00から ● 主催：ミサワ

ホーム近畿株式会社 | 企画・監修：大島滋[Aプロジェクト室 室長] | 定員：50名 | 申込み：ホーム

ページより要予約[www.a-proj.jp] | お問い合わせ先：ミサワホーム近畿株式会社[担当：工藤 | tel:

06-6341-7680] ● 岩崎貴宏[いわさき・たかひろ] | 美術作家。1975年広島県生まれ、

広島県在住。広島市立大学芸術学研究科博士後期課程修了。エジンバラ芸術大学名誉博士。第10回リヨン・ビエンナーレ[2009]、ヨコハマ・トリエンナーレ[2011]、アジア・パシフィック・

トリエンナーレ[2012]、2013アジア・アート・ビエンナーレ[国立台湾美術館]、深圳彫刻ビエンナーレ

[2014]、あいちトリエンナーレ2019などの国際展への参加多数。2017年、第57回ヴェネ

チア・ビエンナーレ国際美術展の日本館代表に選出され、個展「逆さにすれば、森」を開催

● 山岸剛[やまぎし・たけし] | 写真家。1976年横浜市生まれ。早稲田大学政治経済

学部経済学科および同大学芸術学校空間映像科卒業。人工性の結晶としての「建築」と、

それが対峙する「自然」との力関係を主題とするものとしての「建築写真」を制作する。主な個展

に「Tohoku - Lost, Left, Found」[2014、ユニカムノルタギャラリー]。写真集に『Tohoku Lost, Left,

Found」[2019、LIXIL出版]、『井上剛宏作庭集——景をつくる』[共著、鹿島出版会、2014]など。写

真を撮り下ろした書籍に『日土小学校の保存と再生』[鹿島出版会、2016]、『住宅設計ドロー

グ——波板の家』[山下大輔と共著、オーム社、2019]、『Inui Architects —— 乾久美子建築設計

事務所の仕事』[LIXIL出版、2019]など。写真を提供した書籍に『物質試行49——鈴木了二

作品集1973-2007』[LIXIL出版、2007]ほか多数 ● 本橋仁[もとはし・じん] | 建築史家。

東京生まれ。京都国立近代美術館特定研究員。大正時代の自由闊達な建築をめぐる議

論にあこがれ、研究とともに展示をおこなう。直近の活動に文化財をつかった演劇シリーズ家

を渉る劇 vol.4「リンドバークたちの飛行」[主催：ゲッコパレード]を仙台市の納豆工場、宮城野

納豆製造所で企画。これまでの主な担当展覧会はヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展

[2014]、世紀末ウィーンのグラフィック展[京都国立近代美術館、2019年]ほか



MISAWA HOMES
KANSAI / A*PROJECT
LECTURE SERIES

SUNDAY,
20 OCTOBER 2019,
14:00-16:00

TAKAHIRO IWASAKI^[1]
TAKESHI YAMAGISHI^[2]
JIN MOTOHASHI^[3]

撮影
友枝望

